

平成22年度第2回 徳島県スポーツ振興審議会

日 時：平成23年2月7日(月)
午後1時から

場 所：旧阿波銀行かちどき橋支店
2階会議室

一 次 第 一

1 開 会

2 あいさつ

3 委員紹介

4 議 題

(1) 次期徳島県スポーツ振興基本計画について

～4部会合同会議において意見交換～

(2) 課題と問題点の整理について

～各専門部会において協議～

(3) その他

5 閉 会

平成22年度第2回 徳島県スポーツ振興審議会資料

【目次】

・ 徳島県スポーツ振興審議会委員	1 P
・ 徳島県スポーツ振興審議会設置条例	2 P
・ 現徳島県スポーツ振興基本計画の状況について	3 P
・ 「元気なとくしま」の推進について	7 P
・ 「輝くとくしま」の推進について	8 P
・ 「豊かなとくしま」の推進について	9 P
・ 「ふれあいとくしま」の推進について	10 P

<別添資料>

- ・ スポーツ立国戦略（文部科学省）概要等（前回資料抜粋）
- ・ とくしまスポーツ憲章
- ・ 徳島県スポーツ振興基本計画

徳島県スポーツ振興審議会委員

任期:平成22年9月1日～平成24年8月31日

	憲章区分による部会		氏名	役職
副会長	運動好きで健やかな 子どもたちが育つ 「元気なとくしま」 部会	部会長	佐藤 充宏	徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部教授
			松岡 優	徳島市民病院副院長
			佐古 哲子	徳島県女子体育連盟会長
			藤本 美加	元全日本女子バレーボール選手
会長	世界にはばたく トップアスリートが育つ 「輝くとくしま」 部会	部会長	宇山 孝人	徳島県体育協会専務理事
			弘山 晴美	元オリンピック日本代表
			豊永 陽子	生光学園中学校・高等学校教諭
			竹林 義浩	OKスイミングスクールコーチ
	生涯にわたって スポーツを楽しむ 「豊かなとくしま」 部会	部会長	田中 俊夫	NPO法人日本健康運動指導士会理事
			大西真知子	いけだスポーツクラブ・クラブマネジャー
			田中 利子	徳島県市町村保健師連絡協議会会長
	親睦や交流の場として スポーツに親しむ 「ふれあいとくしま」 部会	部会長	長瀬 照明	徳島新聞社編集局運動部長
			坂田千代子	(株)あわわ代表取締役社長
			田中 泰斗	大塚製薬(株)徳島本部総務部次長
			関本 真美	トクシマフィットネスラボ主宰

○徳島県スポーツ振興審議会設置条例

昭和三十七年三月二十日
徳島県条例第十四号

〔徳島県スポーツ振興審議会条例〕をここに公布する。

徳島県スポーツ振興審議会設置条例

(設置)

第一条 スポーツ振興法(昭和三十六年法律第百四十一号)第十八条第一項の規定に基づく審議会その他の合議制の機関として、徳島県スポーツ振興審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(組織)

第二条 審議会は、委員十五人以内で組織する。

(会長及び副会長)

第三条 審議会に、会長及び副会長一人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によつて定める。

3 会長は、審議회를代表し、議事その他の会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(任期)

第四条 委員の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会議)

第五条 審議会の会議は、会長が招集する。

2 審議会の会議は、委員の総数の過半数が出席しなければ、開くことができない。

3 審議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(雑則)

第六条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営その他必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この条例は、昭和三十七年四月一日から施行する。

附 則(平成一二年条例第六三号)

この条例は、平成十二年四月一日から施行する。

附 則(平成二〇年条例第二一号)

1 この条例は、平成二十年四月一日から施行する。

【徳島県スポーツ振興基本計画 施策体系】



「生涯スポーツの振興」の現状について (現・徳島県スポーツ振興基本計画より)

【施策項目】	【内容】	【平成22年度末・現状】	【関連事業】
(1) 生涯スポーツ事業の推進	生涯スポーツの振興を図るため、広域スポーツセンター事業により、総合型地域スポーツクラブの創設・活動の支援をするとともに、ニュースポーツ等の普及やスポーツ交流大会の開催、スポーツ関係団体との連携を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 成人の週1回以上のスポーツ実施率＝40.94% ● 総合型地域スポーツクラブは、22市町村において、28クラブが設立、4クラブが設立準備中。(32クラブが活動) ● 総合型クラブとレクリエーション協会が連携し、ニュースポーツの指導者育成研修や普及事業を実施。 ● 総合型クラブ連絡協議会が主体となり、交流大会や研修会を実施。 ● 総合型クラブの機能強化を図るため、健康づくりのモデル事業を実施。 ● 市町村と連携した総合型クラブの活動に対する補助事業を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 総合型地域スポーツクラブ ● どんどん活用事業 ● 総合型地域スポーツクラブ運営力向上事業 ● We Fitスポーツ促進事業 ● スポーツ健康づくり実践モデル事業 ● OURスポーツ活力向上事業
(2) 指導者の養成と活用	研修を通してスポーツ指導者の養成や資質向上を図るとともに、優秀なスポーツ指導者の派遣・有効活用を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ● クラブマネジャー養成講習会やスポーツソコデーネット講習会を開催。 ● 総合型クラブのマネジメント力の向上を図るため、組織経営アドバイザーを派遣。 ● 財団法人徳島県スポーツ振興財団が主体となり、子どもの運動あそびを支援する指導者の養成事業を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 総合型地域スポーツクラブ ● どんどん活用事業 ● 総合型地域スポーツクラブ運営力向上事業 ● 地域スポーツ指導者育成推進事業(文科委託事業)
(3) スポーツ情報システムの整備	スポーツ情報のネットワーク化を推進し、スポーツ情報の収集と提供を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ● とくしまスポーツSHOWデー事業において「とくしまスポーツSHOWデー・ステーションサイト」を運営。イベント情報等を随時掲載。 ● 財団法人徳島県スポーツ振興財団において「あわスポネット」を運営。総合型クラブやスポーツ指導者等の情報を随時掲載。 	<ul style="list-style-type: none"> ● とくしまスポーツSHOWデー事業(協賛事業) ● 県スポーツ振興財団主催事業
(4) スポーツ施設の整備・充実	スポーツ施設の整備・充実を行うとともに、利用者の利便を図るためスポーツ施設のユニバーサルデザイン化と学校体育施設の一層の解放を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 鳴門・大塚スポーツパークにおいて、指定管理者制度を導入したスポーツ施設の管理運営。また、エレベータ設置、車いす観客席の設置などのユニバーサルデザイン化を推進。 	

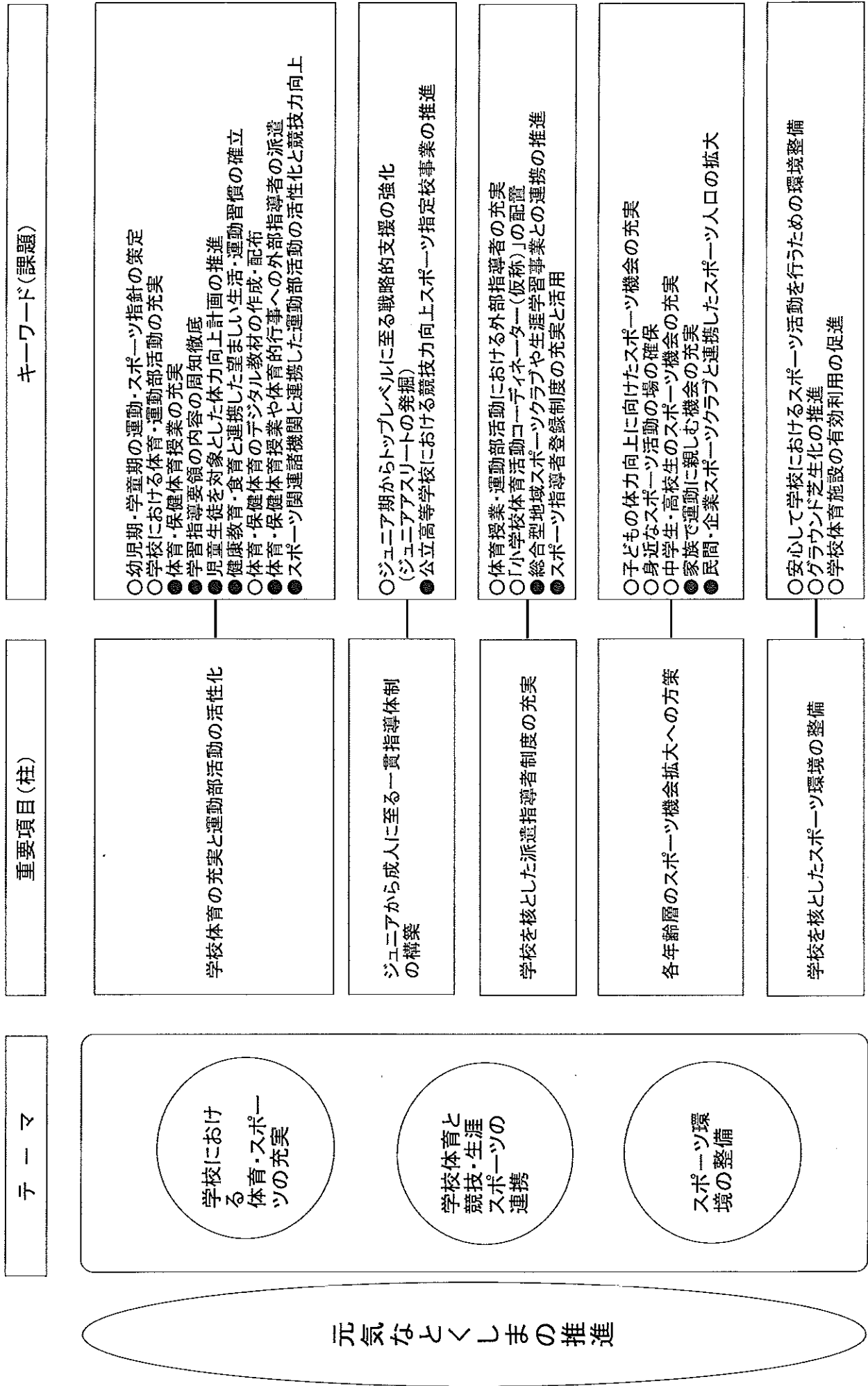
「競技スポーツの振興」の現状について（現・徳島県スポーツ振興基本計画より）

【施策項目】	【内容】	【平成22年度末・現状】	【関連事業】
(1) 競技力の向上	関係機関・関係団体との連携を強化し、ジュニアからの育成・強化を重点とした総合的な競技力向上対策を展開します。	<ul style="list-style-type: none"> ●直接現場と連携・協働する「徳島育ち競技力向上プロジェクト」を展開。その中の「徳島育ちトップアスリート養成事業」に16競技団体、「スポーツ拠点づくり推進事業」に6競技団体が、中長期的にジュニアからの育成を目指し、計画的に事業を実施。 ●成果志向型の選手強化として「競技スポーツ重点強化対策事業」を実施し、国体選手の強化を実施。 ●高等学校における重点強化として「競技力向上スポーツ指定校事業」を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ●徳島育ち競技力向上プロジェクト（県民スポーツ課） ●徳島育ちトップアスリート養成事業 ●スポーツ拠点づくり推進事業 ●競技スポーツ重点強化対策事業（県体協） ●競技力向上スポーツ指定校事業（県教委体育健康課）
(2) 指導者の養成や活用と指導体制の確立	競技スポーツの振興を図るため、専門性の高い指導者を育成・確保するとともに、競技の特性や個人差・発達段階を考慮し、適切な練習やトレーニングが実施できる一貫指導体制の充実に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●指導者としての資質・能力を高めるための講習会や研修会を通して、優秀な指導者の育成事業を実施。 ●競技団体の「一貫指導育成プログラム」作成と実践のための一貫指導推進委員会や現場での各事業に対する協働・支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ●徳島育ち競技力向上プロジェクト ●スポーツ指導者養成事業 ●一貫指導育成プログラムの作成
(3) 支援体制の確立	財団法人徳島県体育協会、競技団体、学校体育団体、企業、医師、トレーナー等による支援体制を確立しスポーツの環境整備を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●国体ブロック大会、国体時におけるトレーナーの選手団帯同による選手の健康維持管理や心理面のサポートを実施。 ●高校生を対象に「トレーナー研修会」を実施。 ●国体選手を対象に「ドープピング防止教育・啓発」の講演等を実施。 ●総合型地域スポーツクラブとの連携により、競技人口拡大のために普及目的の講座を開設。 	<ul style="list-style-type: none"> ●トレーナー養成事業 ●ドープピング防止教育・啓発事業
(4) スポーツ大会などの開催促進	スポーツ関係団体や市町村と連携を図りながら、全国大会や各種スポーツ大会などの開催を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ●全国ろうあ者体育大会、天皇賜杯全日本ソフトテニス選手権大会の開催。 ●「こどもの夢はぐくみ事業」として、ジュニア期の競技力向上への動機付けとなる元日本代表選手(4名)のトークショーや実技指導を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ●徳島育ち競技力向上プロジェクト ●こどもの夢はぐくみ事業

「学校における体育・スポーツの充実」の現状について（現・徳島県スポーツ振興基本計画より）

【施策項目】	【内容】	【平成22年度末・現状】	【関連事業】
<p>(1) 「体育・保健体育科」授業の充実</p>	<p>児童生徒一人一人が運動の楽しさや喜びを味わうとともに、生涯にわたって運動やスポーツに親しむ資質や能力を身につけることができるよう学習指導を充実し、指導者の資質向上を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「子どもの体力・運動能力向上対策委員会」の設置。(平成21・22年度) ●「子どもの体力向上支援プラン」の策定、「小学校・中学校体力づくり運動プログラム」の作成。(平成21年度) ●「子どもの体力向上支援プラン実現のためのアクションプラン」の策定。(平成22年度) ●新学習指導要領(平成23年度小学校から順次実施される)への円滑な対応のための講習会開催。 ●中学校武道・ダンス必修化に向けた地域連携推進協力者会議の設置(平成21・22年度)、指定校(平成21年度:20校,平成22年度:22校,平成23年度:24校予定)における授業研究,研究委員会における指導方法の研究,指導者講習会の実施。(種目は、「柔道」「剣道」「相撲」「ダンス」の4種目) ●教員の指導力向上のための学校体育指導者講習会・水泳指導者講習会を実施。 ●小学校「体育」,中学校「保健体育」授業への外部指導者の派遣。 ●救急救助法の習得等を内容とする徳島県スポーツ施設等安全管理講習会の開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校体育実技指導支援事業 ●子どもの体力・運動能力向上対策事業(文部科学省委託事業) ●中学校武道・ダンス必修化に向けた地域連携指導実践事業(文部科学省委託事業) ●地域スポーツ人材の活用実践支援事業(文部科学省委託事業)
<p>(2) 児童生徒の体力・運動能力の向上</p>	<p>学校・家庭・地域社会等におけるあらゆる機会を通じて、運動やスポーツに親しむ児童生徒の育成を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校・中学校・高等学校における新スポーツテストの実施による体力データの蓄積と分析。 ●全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実施。 ●「スポーツ選手活用体力向上支援事業」(財)日本体育協会事業)の活用。 ●「体力アップ100日作戦！」の実施。平成22年度実施率:92.8%(対象:県内公立小学校1~4年全員) ●「子どもの運動習慣確立チャレンジ事業」による歩数計の配布と歩行の奨励。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの体力・運動能力向上対策事業(文部科学省委託事業) ●子どもの運動習慣確立チャレンジ事業
<p>(3) 運動部活動の充実</p>	<p>外部指導者の積極的な活用,指導者の資質向上のための研修会等を充実させ,より魅力ある運動部活動の推進を目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「地域スポーツ人材の活用実践支援事業」による活用促進委員会の開催と運動部活動への外部指導者の定期派遣・短期派遣。 ●競技力向上スポーツ指定校(平成22年度20校24部)の指定と重点強化。(平成22年度全国高校総体:徳島科学技術高校男子ソフトボール優勝,脇町高校女子ソフトテニス5位) ●競技力向上高校生競技者支援事業による競技力向上スポーツ指定校以外の学校に所属する優秀競技者の支援。 ●安心子ども基金を活用した小体連,中体連,高体連,女体連の競技力向上や健康安全に関する事業の支援。 ●中体連,高体連を通じての複数校合同運動部活動の支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域スポーツ人材の活用実践支援事業(文部科学省委託事業) ●競技スポーツ重点強化対策事業 ●競技力向上スポーツ指定校事業 ●競技力向上高校生競技者支援事業

運動好きで健やかな子どもたちが育つ 「元気なとくしま」の推進について



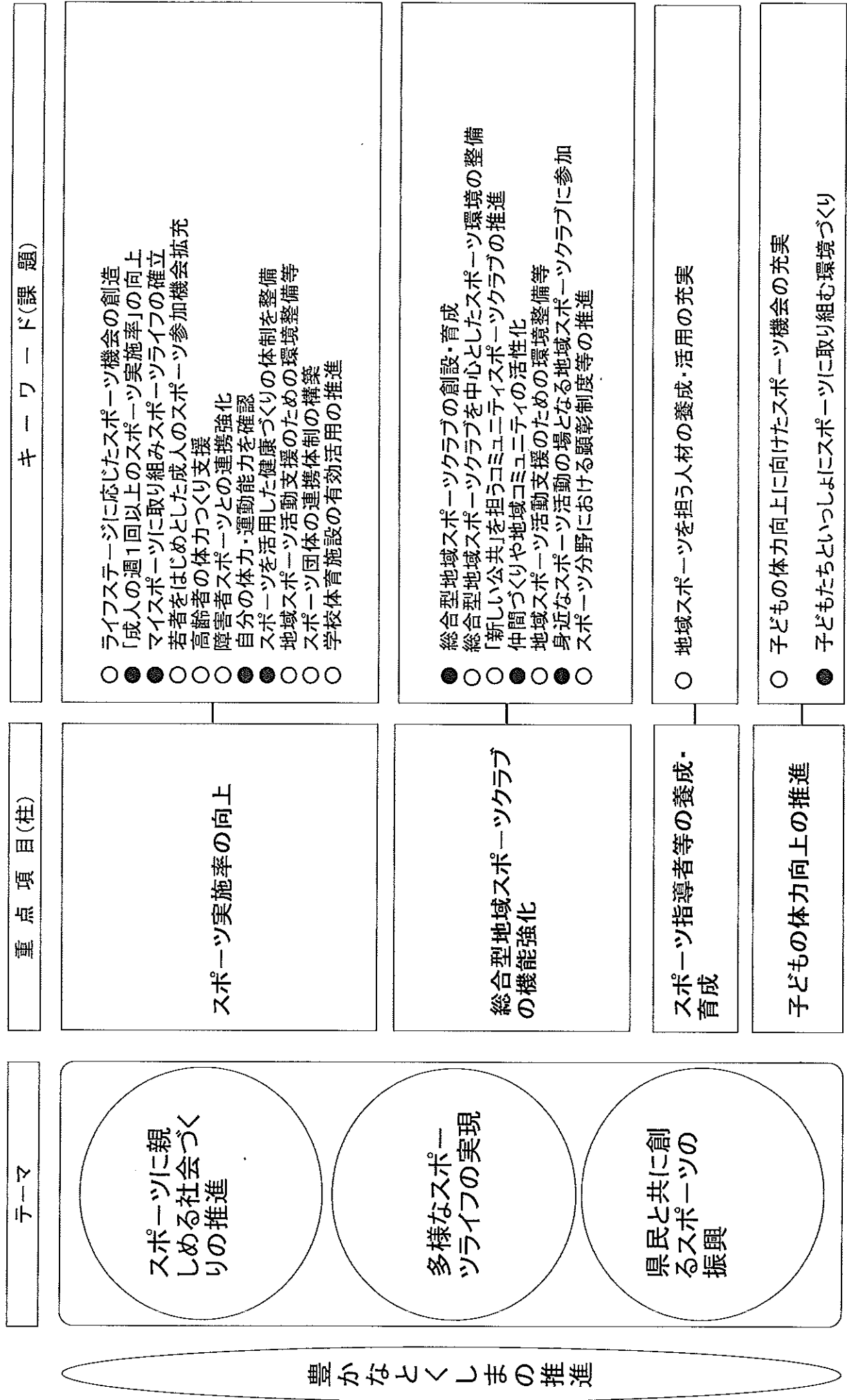
元気なとくしまの推進

世界にはばたくトップアスリートが育つ 「輝くとくしま」の推進について



輝くとくしまの推進

生涯にわたってスポーツに楽しむ 「豊かなとくしま」の推進について



テーマ

スポーツに親しめる社会づくりの推進

多様なスポーツライフの実現

県民と共に創るスポーツの振興

重点項目(柱)

スポーツ実施率の向上

総合型地域スポーツクラブの機能強化

スポーツ指導者等の養成・育成

子どもの体力向上の推進

キーワード(課題)

- ライフステージに応じたスポーツ機会の創造
 - 「成人の週1回以上のスポーツ実施率」の向上
 - マイスーツに取り組み成人のスポーツ参加機会拡充
 - 若者をはじめとした成人のスポーツ参加機会拡充
 - 高齢者の体力づくり支援
 - 障害者スポーツとの連携強化
 - 自身の体力・運動能力を確認
 - スポーツを活用した健康づくりの体制を整備
 - 地域スポーツ活動支援のための環境整備等
 - スポーツ団体の連携体制の構築
 - 学校体育施設の有効活用の推進
- 総合型地域スポーツクラブの創設・育成
 - 総合型地域スポーツクラブを中心としたスポーツ環境の整備
 - 「新しい公共」を担うコミュニティスポーツクラブの推進
 - 仲間づくりや地域コミュニティの活性化
 - 地域スポーツ活動支援のための環境整備等
 - 身近なスポーツ活動の場となる地域スポーツクラブに参加
 - スポーツ分野における顕彰制度等の推進
- 地域スポーツを担う人材の養成・活用の充実
- 子どもの体力向上に向けたスポーツ機会の充実
 - 子どもたちといっしょにスポーツに取り組む環境づくり

親睦や交流の場としてスポーツに楽しむ 「ふれあいとくしま」の推進について

